

# 取扱説明書



キッチン用シングルレバー混合水栓

ホース引出式

品番 : RED285CR

日本水道協会 認証登録番号 C-166

このたびは、当社の商品をお買い求め頂き誠に有難うございました。

PAFFONIはイタリアの伝統ある水栓金具製造メーカーです。

常に最良の状態でご使用頂く為に、この説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

また本説明書には保証書が付いております。お読みになった後は大切に保管して下さい。

## もくじ

安全上のご注意	2
特徴、各部の名称	3
ご使用方法	4
ご使用上の注意	5,6
お手入れ	6,7
修理を依頼される前に	8

## ●安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

**注意**・・・取扱を誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的破損が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

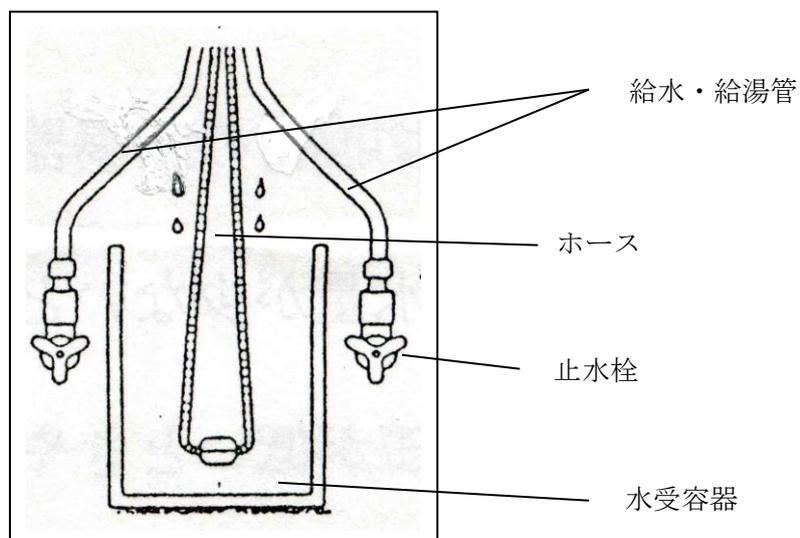
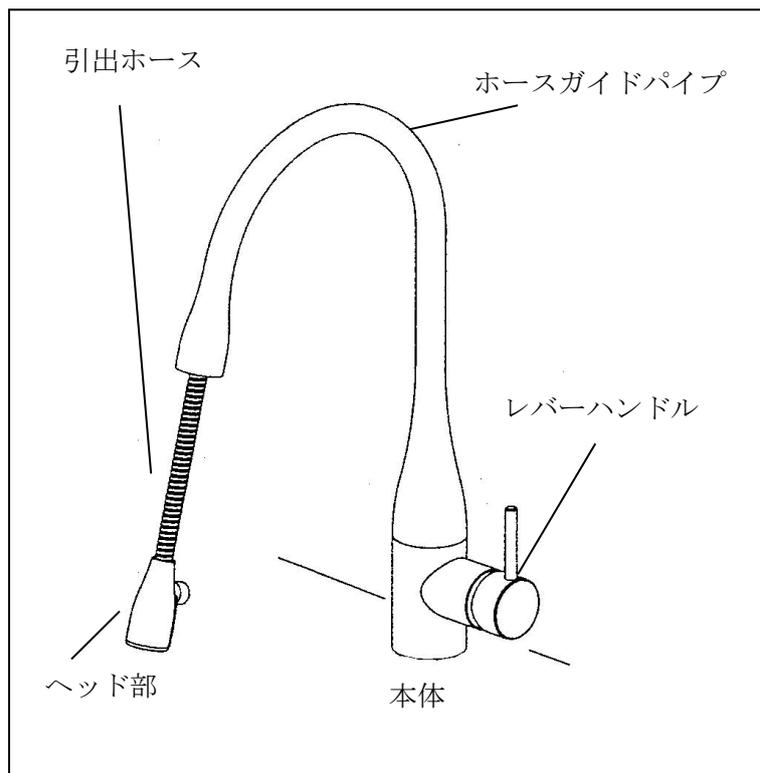
	してはいけません！（一般的な禁止記号です）
	指示通りにしなさい！（一般的な行動禁止用語です）
	指示した場所に触れてはいけません！
	分解してはいけません

 <b>注意</b>	
	高温の湯をお使いの際は、ホース部又は吐水パイプ部は高温になっております。直接肌に触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。
	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。 ※次に使用する際に水栓内に滞留した湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	お湯をお使いになる時は必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくりお湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。
	他所の水栓との同時使用等により圧力の変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇する恐れがあります。 ※同時使用をしないよう注意してください。ヤケドをする恐れがあります。
	レバーハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こす恐れがあります。ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
	修理技術者以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 ※ 発火、感電したり、ケガ・故障・破損が発生する恐れがあります。

## ●特徴

- ・レバーハンドルひとつで吐水量と温度を調節でき、節水効果があります。
- ・バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。
- ・口先ヘッド部を引出してご使用出来ます。

## ●各部の名称

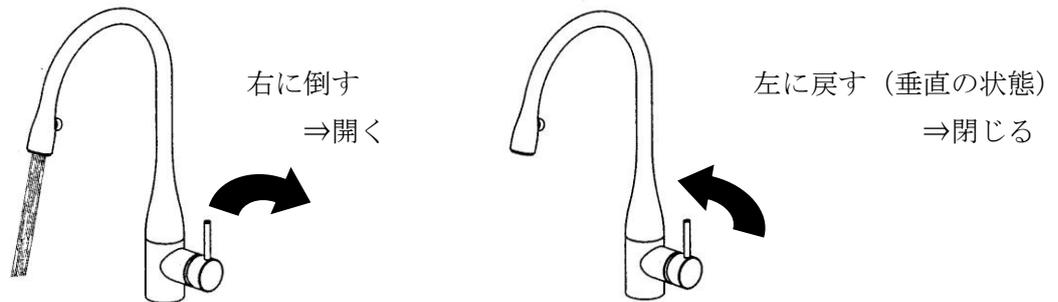


## ●ご使用方法

### ・吐水量の調節

レバーハンドルを右に倒すと吐水し、倒し具合で水量を調節します。

レバーハンドルを垂直の状態に戻すと止水します。



### ・温度の調節

レバーハンドルを手前に回すと吐水温度が下がり、

奥に倒すと吐水温度が上がります。

※ノズルヘッドは吐水口より引出して使用可能です。



### ・吐水量の調節

レバーハンドルを上げると吐水し、上げ具合で水量を調節します。

レバーハンドルを下げると止水します。

## ●ご使用上の注意

### ・ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

比例制御式給湯器の場合は、温度調節を高温にしてください。

能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用下さい。

※吐水量が少ないと給湯器が着火しない場合があります。

給湯圧が低いときや水温が高い時は、給湯器が着火しない場合があります。

この場合は給湯器の設定温度(能力切替付は能力)を少し下げてください。

### ・レバーハンドル操作

レバーハンドルはゆっくりと動かして下さい。

※ 急激な操作をすると、配管内で水撃音が出る場合があります。

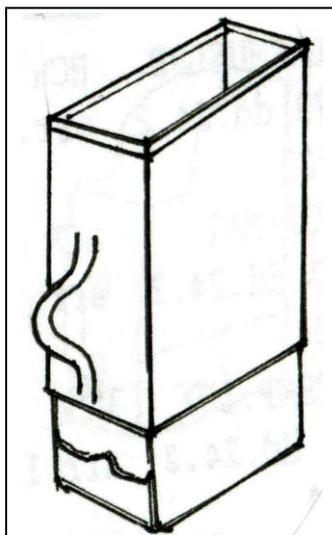
### ・水かけの禁止

ノズル引出口、引出したホース部に直接水をかけないで下さい。



※水がホースを伝わり、キャビネット内に進入する恐れがあります。

※水が浸入してもキャビネットを濡らさないよう、必ず水受容器(別売)をご使用下さい。



水受容器

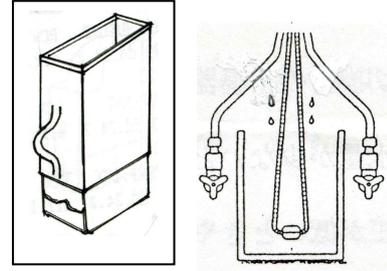
### ・水受容器の点検



定期的にキッチンキャビネット内の水受容器を点検し、水がたまっていれば捨てて下さい。

※短期間に大量の水が溜まる場合は、ホースの破損が考えられます。

販売店、施工店、または弊社へご連絡下さい。



### ・吐水口の首振り角度の注意



吐水口を回転させる際は、吐水位置がシンク内に収まるように注意して下さい。

### ・キャビネット内の物を出し入れする際のご注意



キャビネット内の物を出し入れする際、水栓の給水給湯管・ノズルヘッドのホース部を引張ったり、無理な力を加えないで下さい。

## ●お手入れの方法

いつまでもご愛用頂くため、お手入れの際は次のことにご注意下さい。

### ・汚れた場合は

汚れは乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。汚れがひどいときは適当に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取って下さい。その後、水拭きをして最後に柔らかい布で乾拭きをして下さい。

水栓の表面を傷める恐れのある下記の物は使用しないで下さい。



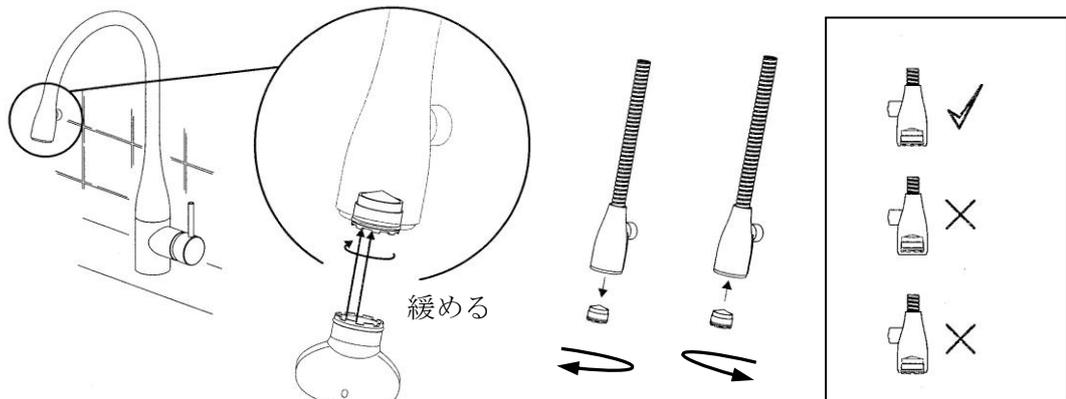
- ・ クレンザー、磨粉など粒子の粗い洗剤
- ・ ナイロンたわし、ブラシ等
- ・ シンナー、ベンジン等の溶剤

## ・整流器（エアレーター）のお手入れ

吐水口先端の整流器にゴミ等が詰まる場合がありますので、定期的に次の要領で清掃して下さい。

### PAFFONI RED の場合

- レバーハンドルを止水状態にして整流器を緩めて下さい。  
(付属の専用工具/青色を使用し、工具の凹凸部と整流器の凹凸部を合わせて緩めて下さい。)
- 整流器を取り外し、ゴミを取り除いて下さい。
- 1 と反対の要領で整流器を締め付けて下さい。



整流器は、締め付ける際にヘッドを横から見て同じ深さ（位置）になるように調節して下さい。

## ●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合があります。下記項目をご確認下さい。

内容	原因	処置
吐水量が少ない	1、配管内のゴミがフィルターに溜まっている 2、給湯器の温度設定が不適切	1、フィルターパッキン・整流器を取外し洗浄する 2、給湯器から十分なお湯が出ているか確認する ※使用する温度より設定温度を高くする
温度調節が出来ない	1、配管内のゴミが整流器に溜まっている 2、給湯器の温度設定が不適切 3、水の圧力が強すぎる	1、上記1同様 2、上記2同様 3、湯水の吐水量が同量であるか確認する ※レバーハンドルを湯側いっぱいに合わせて吐水し湯側の止水栓で湯量を適量に調整する。その後レバーハンドルを水側いっぱいに合わせて、湯側と同様の吐水量になるよう止水栓で水量を調整
水の量が多すぎる 使用時に音がする	水の圧力が強すぎる	水側の止水栓を締め、水の量を少なくする
完全に止水できない ポタポタ水がたれる レバーの付根部、水栓本体のつなぎ目から水がにじみ出る	水栓内部に内蔵されているカートリッジが破損している	販売会社、施工業者、弊社へメンテナンスを依頼し、カートリッジ交換を行う
水受容器に水が溜まる	ホースが破損している	販売店、施工店、弊社へメンテナンス依頼してホース交換を行う

上記の処置で故障が直らない場合は、販売店、施工店、弊社のいずれかへご連絡下さい。

上記処置以外の分解、修理、改造は行わないで下さい。